特定健診で医療費を抑えよう

皆さんは、長洲町の医療費が高いこと、その高い医療費は自分たちで抑えることができることを知っていますか。なぜ医療費が高いのか、そしてどうすれば抑えることができるのか、その原因を探ってみました。

Q1. 長洲町の医療費が高いって本当？

A. 長洲町の、医療費（平成22年度）は、県内45町村中、ワースト７位という結果が出ています。

順　位	町　村	一人あたりの医療費
第１位	A　　市	467,098円
第７位	長 洲 町	**355,614円**
・・・		・・・
	県平均	323,679円
第45位	○ ○ 村	256,329円

■県国保事業状況報告書より

Q2. 町と県平均の差はどのくらいあるの？

A. 町と県の平均の差は一人32,000円です。１年間にすると約1億4,000万円の医療費が余計にかかってしまう計算になります。１番医療費が安い町と比べても９万９千円の差があります。

Q3. 高い医療費になる原因は通院のせい？それとも入院のせい？

A. 入院の件数は、全体のわずか2.4％にもかかわらず、費用額は37％を占めています。
入院の方が高い医療費につながります。

Q4. １カ月400万円かかる病気があるって本当？

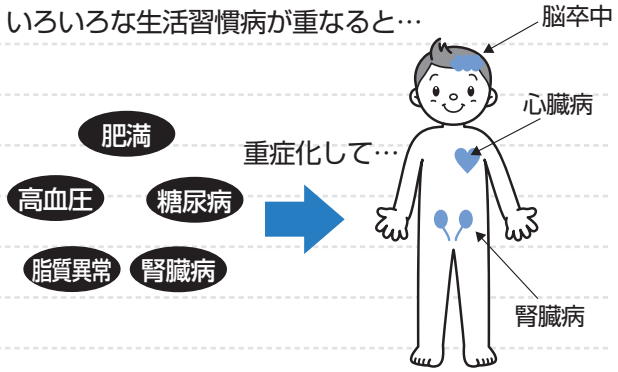
A. 本当です。もっともお金がかかる病気は、心臓（心筋梗塞や大動脈）の病気です。

Q5. 人工透析は年間550万円かかるって本当？

A. 本当です。腎臓病（人工透析）は長期にわたってお金がかかります。

Q6. どうやったら心臓病や人工透析は防げるの？

A. 心臓病や人工透析は、糖尿病などの生活習慣病の悪化によって起こります。すなわち、生活習慣病を抑えることが一番の方法です。



Q7. 生活習慣病を抑えたい！まずは何から？

A. まずは自分の体を知ることが大切です。そのためには毎年特定健診を受けることが一番有効的です。

Q8. 特定健診で何が分かるの？

A. 糖尿病をはじめとする、生活習慣病の状況・程度が分かります。また、自分の腎臓の状態も分かります。あなたの腎臓は、何パーセント働いているのか知っていますか。特定健診を受ければ血液検査の血清クレアチニン値から、腎臓の働き具合が分かります。

６月から個別健診と集団健診を行います。健診を活用して、自分の身体（健康）と医療費（お金）を守ることを始めませんか。

※特定健診の受診率
22年度……32.0％
23年度……34.4％

※健診の詳細は、６月号でお知らせします。

問福祉保健介護課　国保医療係（☎78-3139）

4月号より、毎月の医療費や介護保険にかかった費用を掲載しています。
また、今後は定期的に前年対比や県内での順位なども掲載していく予定です。

医療費・介護費情報（H24.1月分）

◇被保険者数は１月末の人数を掲載しています。

国民健康保険		後期高齢者医療保険		介護保険	
被保険者数	4,503人	被保険者数	2,490人	認定者数	920人
一人あたりの費用	21,376円（前月比△1,945円）	一人あたりの費用	74,312円（前月比△5,660円）	一人あたりの費用	127,770円（前月比△5,459円）

※本人負担分を除いた費用を掲載しています。